

宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別対応方針シート

| | | | | |
|------|---------|-------|-----------------------|-------|
| チーム名 | 第 3 チーム | | 担当課名 | 企画政策課 |
| 事業番号 | 3-1 | 事務事業名 | 国際交流事業(宮崎市国際交流協会支援事業) | |

| | |
|------|-------|
| 対応方針 | 見 直 し |
|------|-------|

| 判定結果に対する考え方、今後の方針等 |
|---|
| <p style="text-align: center; font-size: 10px;">※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p> <p>◆ 判定人からのコメントに対する対応方針・所見</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市は、宮崎市総合計画に示したビジョンに沿って宮崎市国際交流協会（以下「協会」という。）の活動を支援している。今後は、協会に対して各事業の目的・成果の検証等を要請し、存在意義を打ち出せる協会になるよう助言していく。（①） (2) 協会は、民間団体として活動しており、市もそれを踏まえて助言を行っている。今後のあり方についても、協会主体でより一層の検討をしてもらうよう助言していく。（②） (3) 自主財源の拡大やイベント等の開催時期・広報については、協会が改善に向けて主体的に取り組み、市は必要な助言を行う。（③） (4) 法人会員の会費増は、協会で行い、協会で取り組んでもらう。宮崎県国際交流協会との連携は、今後も積極的に進めていく。また、協会の活動成果について、わかりやすい形で公表するよう助言していきたい。（④） (5) 協会は、スタッフの専門性やボランティアの存在、在住外国人とのつながりなど、多くの「資源」を備えている。市としては、今後も協会が国際交流活動の中核的組織となるよう支援をしていきたいと考えている。（⑤） (6) 自主財源の確保は、協会が自立する上で重要な課題である。会員数の増加や魅力ある講座・イベントの提供に繋がるような助言をしていきたい。（⑥） <p>◆ 基本的な考え方</p> <p>協会は、民間団体ではあるが行政主導により設立された経緯もあり、偏りのない団体として公正・公平な事業展開を進めている。市は、宮崎市総合計画の中で「市民が主体となった国際交流」をビジョンとして謳っており、また、民間主導の中核的組織の育成を主要施策としている。そのため、基本的には、本事業を継続して進めていきたいと考えるが、協会の活動及び市の施策の充実や効率化等を図るため、市と協会で一層の連携を取りながら、指摘事項の見直しを図っていききたいと考える。</p> <p>◆ 「市」における見直し</p> <p>市は、協会が本来の目的を実現するために、より一層協会と連携するとともに、補助金交付について、見直しの検討を行っていく。具体的には、協会の自主性を損なわないように、必要な助言・協議を行っていく。また、協会が、より事業展開しやすいよう、補助金交付のあり方を検討していく。</p> <p style="padding-left: 20px;">見直し（開始）年度：平成24年度</p> <p>◆ 「協会」における見直し</p> <p>下記の点について、積極的に検討してもらうよう協会に対して要請していきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> (ア) 自主財源の拡大（会費増、補助金獲得、講座参加料の再検討等） (イ) 協会内での各事業の検証・再構築による魅力ある事業展開の検討 (ウ) イベント等の広報の徹底 (エ) 協会の活動成果について、市民にわかりやすい形での公表 <p style="padding-left: 20px;">見直し（開始）年度：平成24年度（一部、平成23年度から着手）</p> |